

# まつもとてい便り

第 45 号  
2018 年  
11 月 1 日

連絡先 石川県健康友の会連合会  
金沢北ブロック  
金沢市京町 3-37 076-251-6112  
代表：藤牧 渡

## 「暖かい物有難う」 ～冬物ゼロ円ショップ開催～



10月24日（水）冬物ゼロ円ショップが行われ、いつも「まつもとていサロン」に顔を出してる人が、何点かの冬物を手にして喜んでいました。

「ズボンないが？」「パンツはないか」「LLの物を頼む」と注文も飛び、開始時間の午前10時が待ちきれない様子でした。サロンボランティアと友の会スタッフは「〇〇さんに似合うわ」とぴったりのサイズと好みの品物を探してきて「おすすめ嬢」に変身。

今回は、展示場所が足りないくらい

品物が豊富でしたが1時間ほどで売り切れ、片付けてテーブルを出し、昼食を食べました。

## 「から揚げ 100人分売り切れ」

### 健康まつり(10月14日)で「まつもとていの店」

恒例の健康まつりは、秋晴れのもと1,700人が参加して城北クリニックを中心に開催されました。「まつもとてい」では夏のピースフェスタは休みましたが、健康まつりには店を出そうと相談し、4人のスタッフが中心になって「から揚げ」の店を出し、まつりに貢献しました。

前日に材料を切り出し、漬け汁を作って、当日朝6時から出て揚げました。2時間ほどで100人分が売り切れ、わずかながら残りました。

テントの上に看板を作って、ひと目で「まつもとてい」のから揚げの店とわかるようにしました。



## まつもとていサロン日程



毎週水曜日：午前 10 時～午後 3 時開いています。

場所：まつもとてい

### <11、12月の主な行事予定>

11月11日(日)	サロン	金沢市長選
11月28日(水)	サロン	収穫祭
12月19日(水)	サロン	クリスマス会
12月26日(日)	サロン	今年最後のサロン



## さつまいも掘り

秋晴れの10月21日(日)午前、木越の畑でさつまいも掘りが行なわれました。品種はブランド品の「五郎島金時」ですが、今夏の日照りの為に根つきが悪く、余りとれませんでした。

ツルを片付けて、畝を掘ると芋が出てきました。昔はツルも食べたのですが、最近は食べ方を知らない人が多いようです。

以前は健康まつりの大学ポテトの材料になったりしましたが、今年は間に合わなかったので、11月にサロンでメッタ汁にして食べる予定です。



## にぎやかに昌永町みんなの家「ゆるり」のスタートを祝う



「ゆるり」の開所式は9月24日行われ約60人が参加しました。

主催者を代表して浅野健康友の会の森尾会長が「待ちに待った昌永町のサロンが開かれることになった。たくさんの方が利用して欲しい」と期待を述べました。

来賓として佐藤正幸県会議員、城北診療所の筋所長から挨拶を頂きました。

その後、「ゆるり」の出来るまでの経過と今後の運営方針について藤牧代表から説明があり、

「駐車場は?」「場所を使う時間は?」などの質問が出され、施設見学と懇談が行われました。

参加者には本やお菓子・ティッシュ等が配られ、赤飯や焼そば、ファンタの差し入れがありました。

## 「恣意的な指標適用は許されない」統計学的におかしい



### 9月20日第14回公判で代理人弁護士意見を述べる

「いのちのとりで裁判」は公判が行なわれ、代理人の木村弁護士が統計学者の静岡大学上藤教授の意見を要約して述べました。

上藤教授は「比較対象が無いのは統計学的におかしい」と述べています。「必要以上に物価が下落している」という数値を出しているという問題点を指摘しました。

傍聴参加者はこれまでよりも少なく、今回は12月6日となっています。

## 低い河川整備率 佐藤まさゆき県会議員が説明

10月3日行なわれた9月議会報告会では、佐藤まさゆき県会議員が、県民の安全に冷たい谷本県政の現状を報告しました。

佐藤県議は七尾市等で水害が発生した豪雨からの救済問題を取り上げましたが、県内の河川拡幅工事や堤防整備率などは45%程度と低いことがわかりました。河川は維持管理に予算をつけないと土砂に埋まってしまいます。谷本知事は「国の予算の都合がある」と国に責任を転嫁する姿勢を示しました。また県内の避難所で非常用電源を備えているのは32%にとどまることがわかりました。県の防災計画では「非常用電源の整備につとめる」とされています。



障害者水増し問題でもガイドラインには「障害者手帳等による確認」とされているものの、県はガイドラインの認識不足と繰り返すのみでした。

## 「これ以上下げられたらかなわん」基準引下げに不服申請を

### 10月17日 学習会開催

生活保護基準は2013年から3回に渡って平均6.5%引き下げられ、4人の原告が裁判に訴えているにもかかわらず、その最中にまたもや最大5%の引下げを行なって来ました。

金沢生健会ではJ S K(人権を主張するいしかわの会)の呼びかけに応え、17日の学習会に参加するとともに、全生連が呼びかけた1万人が「不服申請」の呼びかけに応えようと話し合っています。

「不服申請」は決定を知ってから90日以内に可能ですが、全生連は11月19日～22日を第一次締め切りとしました。

金沢生健会では、10月18日に平和町で学習会をやったのを始め、第一次締め切りまでに、知り合いに声をかけていきたいと思っています。

「不服申請」には費用はかかりません。生活保護で暮らしている人には声をかけましょう。書類等事務局に問い合わせして下さい。

## 「金沢市 10 月～

### ひとり暮らし緊急通報システム事業に安否確認サービスが追加に！」

城北病院相談室ソーシャルワーカー川合 優

75 歳以上の一人暮らし高齢者世帯（75 歳以上の高齢者のみ世帯で、寝たきりの者がいる世帯も含む）を対象として、これまで実施されてきた緊急通報システム事業に 10 月から新たなサービスが追加されました。

緊急通報システム事業とは、自宅の電話回線を利用したシステムで、24 時間 365 日、緊急時に通報するとコールセンターに連絡につながり、救急車の要請や、健康上の悩みなどの相談に対応してくれるサービスです。また、月 1 回はコールセンターから電話で見守りを実施してくれます。装置の設置費用は無料ですが、ご自宅に固定電話がない場合には、電話回線を引く費用は自己負担となります。サービスの毎月の利用料は 300 円（生活保護世帯は無料）で、利用の相談窓口はお住まいの地域を管轄する地域包括支援センターです。

このサービスに 10 月から新たに、「火災通報対応」と「安否通報対応」が追加されました。「火災通報対応」とは、火災警報器が異常を検知した場合に、コールセンターから消防へ通報するサービスです。「安否通報対応」とは、利用者の動きが少ない場合に、自宅内の数か所に設置した人感センサーが異常を感知し、コールセンターが安否対応をおこなうというものです。いずれも設置費用は無料で、利用料金もこれまでと変わりません。

これを設置すれば安心という物でもありませんが、万が一の備えに活用をご検討されてはいかがでしょうか？

## 山野市政を変えよう！ 金沢市長選挙 11月4日告示 11日投票



南しょうじさん

「まつもとてい」は健康友の会のひとつです。健康友の会は城北病院など民医連事業所と共同して運動しています。

市民の会では構成団体である日本共産党に候補者を要請し、地区委員長の南しょうじさんになりました。健康友の会も金沢市のごみ有料化については意見を上げてきましたが、強引さが目立つ山野市政はやめて、市民の事が理解できる市政に転換すべきだと考えます。

市民の会は南しょうじさん政策協定を結んでいます。今後政見放送や街頭演説を聴いて、南さんが掲げる政策をご理解頂き、「政治を変えよう」の運動にご参加下さい